

瀬戸中央自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

瀬戸中央自動車道(香川県坂出市)

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
明治22年度	1889	5月、香川県議会議員大久保謙之丞が、讃岐鉄道開通式の挨拶の中で本四架橋を提唱(本州四国連絡橋公団三十年史743頁)		
大正8年度	1919	4月、 道路法公布		
大正8年度	1919	12月、 道路構造令・街路構造令制定		
昭和27年度	1952	6月、 道路法公布		
昭和28年度	1953	四国国体開催		
昭和29年度	1954	第1次道路整備五箇年計画(昭和29～33年度)の策定		
昭和30年度	1955	5月、国鉄宇高連絡船「紫雲丸」の沈没事故が発生(瀬戸大橋工事誌2頁)		
昭和30年度	1955	7月、香川県議会が政府関係機関に対し「宇高連絡鉄道建設促進に関する意見書」を提出(本州四国連絡橋公団三十年史744頁)		
昭和32年度	1957	4月、 高速自動車道法公布		
昭和32年度	1957	4月、 道路法改正(高速自動車国道が道路の種類に追加)		
昭和32年度	1957	10月、香川県が瀬戸大橋計画に着手、瀬戸大橋架橋運動を展開(本州四国連絡橋公団三十年史745頁)		
昭和32年度	1957	昭和33年3月、 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律公布		
昭和32年度	1957	昭和33年3月、 道路整備特別会計法公布		
昭和32年度	1957	昭和33年3月、 道路法改正(一級国道の新設・改築は建設大臣が行うなど)		
昭和33年度	1958	第2次道路整備五箇年計画(昭和33～37年度)の策定		
昭和33年度	1958	6月、四国地方建設局設置(道路ポケットブック2009年2頁)		
昭和33年度	1958	8月、 道路構造令公布		
昭和33年度	1958	昭和34年3月、 道路法改正(自動車専用道路制度の創設)		
昭和34年度	1959	4月、建設省が本州四国架橋ルート(明石・鳴門)、Cルート(日比・高松)、Dルート(児島・坂出)、Eルート(尾道・今治)の4ルートを対象に地質調査、経済調査を開始(本州四国連絡橋公団三十年史746頁)		
昭和34年度	1959	8月、瀬戸大橋架設推進香川県協議会が発足(本州四国連絡橋公団三十年史746頁)		
昭和35年度	1960	7月、 国土開発幹線自動車道建設法公布		
昭和35年度	1960	10月、 四国地方開発促進計画(第1次)		
昭和36年度	1961	第3次道路整備五箇年計画(昭和36～40年度)の策定		
昭和36年度	1961	4月、建設省がBルート(宇野・高松)を調査対象に採択。日本国有鉄道がBルート(宇野・直島・高松)、Cルート(宇野・大槌島・高松)、Dルート(下津井・坂出)を調査対象に採択(本州四国連絡橋公団三十年史747頁)		
昭和36年度	1961	8月、建設省と国鉄が、橋梁の技術上の諸問題に関する調査を土木学会に共同委託(本州四国連絡橋公団三十年史747頁)		
昭和36年度	1961	昭和37年3月、鉄道建設審議会が本四備讃線を予定線から調査線に格上げ承認(本州四国連絡橋公団三十年史747頁)		
昭和37年度	1962	10月、 全国総合開発計画の策定		
昭和38年度	1963	4月、 共同溝の整備等に関する特別措置法公布		
昭和39年度	1964	第4次道路整備五箇年計画(昭和39～43年度)の策定		
昭和39年度	1964	7月、 道路法改正(一級国道、二級国道の区別が廃止、一般国道の制度創設)		
昭和39年度	1964	昭和40年2月、 四国地方開発促進計画(第2次)の策定		
昭和40年度	1965	5月、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会が第一次報告書を答申(本州四国連絡橋公団三十年史749頁)		
昭和40年度	1965	昭和41年1月、岡山県と香川県が瀬戸大橋架設推進本部を設置(本州四国連絡橋公団三十年史749頁)		
昭和40年度	1965	昭和41年3月、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会が中間報告を発表(本州四国連絡橋公団三十年史750頁)		
昭和41年度	1966	4月、 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律公布		
昭和42年度	1967	第5次道路整備五箇年計画(昭和42～46年度)の策定		
昭和42年度	1967	6月、土木学会長が建設省と鉄建公団に本州四国連絡橋技術調査報告書(最終)を提出(本州四国連絡橋公団三十年史750頁)		

瀬戸中央自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

瀬戸中央自動車道(香川県坂出市)

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
昭和42年度	1967	昭和43年2月、建設省と運輸省が本州四国連絡橋の工費、工期の調査結果を発表(B、Cルートは工事が難しく、工費も高つくため、ルートはA(明石・鳴門)、D(児島・坂出)、E(尾道～今治)の3ルートに絞られた(本州四国連絡橋公団三十年史751頁)		
昭和44年度	1969	5月、 新全国総合開発計画の策定		
昭和45年度	1970	第6次道路整備五箇年計画(昭和45～49年度)の策定		
昭和45年度	1970	5月、 本州四国連絡橋公団法公布(瀬戸大橋工事誌560頁)		
昭和45年度	1970	7月、本州四国連絡橋公団発足(瀬戸大橋工事誌560頁)		
昭和45年度	1970	10月、 道路構造令改定(交通量に基づく車線数の決定)		
昭和45年度	1970	昭和46年3月、建設、運輸両大臣が本四公団に対し、本州四国連絡橋に関する調査工事に係る工事実施計画を認可(瀬戸大橋工事誌560頁)		
昭和46年度	1971	4月、 道路法改正(交通安全のための規定整備)		
昭和47年度	1972	11月、本州四国連絡橋公団が本州四国連絡橋調査報告書を建設、運輸両大臣に提出(神戸・鳴門ルート及び児島・坂出ルートは道路鉄道併用橋、尾道・今治ルートは道路単独橋)(本州四国連絡橋公団三十年史756頁)		
昭和48年度	1973	第7次道路整備五箇年計画(昭和48～52年度)の策定		
昭和48年度	1973	10月、建設大臣及び運輸大臣が本四公団に対し工事実施計画を認可(瀬戸大橋工事誌561頁)		
昭和48年度	1973	11月、石油危機に伴う総需要抑制策により、政府は11月25日に予定されていた本四架橋3ルートの着工延期を指示(瀬戸大橋工事誌561頁)		
昭和50年度	1975	8月、経済企画庁、建設省、国土庁の三省庁協議により、当面の建設方針決定(児島・坂出ルート及び大鳴門橋、大三島橋、因島大橋の「1ルート3橋」)(本州四国連絡橋公団三十年史759頁)		
昭和52年度	1977	4月、本州四国連絡橋の当面早期完成を図る1ルートを児島・坂出ルートに内定(閣議了解)(本州四国連絡橋公団三十年史7629頁)		
昭和52年度	1977	11月、第三次全国総合開発計画が閣議決定され、瀬戸大橋が当面早期完成を図る1ルートとして正式に決定(瀬戸大橋工事誌562頁)		
昭和53年度	1978	第8次道路整備五箇年計画(昭和53～57年度)の策定	坂出市	昭和54年1月、 北備讃瀬戸大橋[香川27] 着工(瀬戸大橋工事誌563頁)
昭和53年度	1978	5月、本四公団が本州四国連絡橋(児島～坂出ルート)環境影響評価書を公表(瀬戸大橋工事誌562頁)	坂出市	昭和54年1月、 南備讃瀬戸大橋[香川27] 着工(瀬戸大橋工事誌564頁)
昭和53年度	1978	10月、瀬戸大橋着工の鉄入式、起工式、祝賀式を倉敷市鷺羽山と坂出市番の州で挙行(瀬戸大橋工事誌562頁)		
昭和53年度	1978	昭和54年3月、 四国地方開発促進計画(第3次)の策定		
昭和55年度	1980		坂出市	6月、 番の州高架橋[香川28] 着工(瀬戸大橋工事誌569頁)
昭和56年度	1981		坂出市	7月、 下津井瀬戸大橋[香川55] 着工(瀬戸大橋工事誌562頁)
昭和56年度	1981		坂出市	8月、 櫃石島高架橋[香川22] 着工(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和56年度	1981		坂出市	10月、 岩黒島橋[香川23] 着工(瀬戸大橋工事誌566頁)
昭和56年度	1981		坂出市	12月、 南・北備讃瀬戸大橋[香川27] 4ヶ所沈殿(本州四国連絡橋公団三十年史770頁)
昭和57年度	1982	9月、 道路構造令改定(沿道の生活環境への配慮)	坂出市	昭和57年2月、番の州道路高架橋基礎工施工開始(瀬戸大橋工事誌570頁)
昭和58年度	1983	第9次道路整備五箇年計画(昭和58～62年度)の策定	坂出市	11月、 櫃石島橋[香川23] 着工(瀬戸大橋工事誌566頁)
昭和58年度	1983		坂出市	12月、 与島橋[香川25] 着工(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和58年度	1983		坂出市	昭和59年3月、 岩黒島高架橋[香川24] 着工(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和59年度	1984		坂出市	4月、 羽佐島高架橋[香川25] 着工(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和59年度	1984		坂出市	5月、 櫃石島2Pケーソン沈殿完了 (本州四国連絡橋公団三十年史772頁)
昭和59年度	1984		坂出市	昭和60年3月、 北備讃瀬戸大橋[香川27] パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史773頁)
昭和60年度	1985		坂出市	5月、番の州道路高架橋鋼上部工架設開始(瀬戸大橋工事誌571頁)
昭和60年度	1985		坂出市	6月、 与島高架橋[香川26] 着工(瀬戸大橋工事誌569頁)
昭和60年度	1985		坂出市	7月、坂出北ICで工事安全祈願祭挙行(瀬戸大橋架橋史283頁)
昭和60年度	1985		坂出市	7月、 南備讃瀬戸大橋[香川27] パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史774頁)
昭和60年度	1985		坂出市	昭和61年1月、八幡高架橋基礎工施工開始(瀬戸大橋工事誌571頁)
昭和60年度	1985		坂出市	昭和61年2月、坂出南IC(現坂出IC)で工事安全祈願祭挙行(瀬戸大橋架橋史283頁)
昭和61年度	1986		坂出市	6月、 岩黒島橋[香川23] 主構閉合(本州四国連絡橋公団三十年史775頁)

瀬戸中央自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

瀬戸中央自動車道(香川県坂出市)

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
昭和61年度	1986		坂出市	6月、岩黒島橋[香川23]鋼床版閉合(本州四国連絡橋公団三十年史775頁)
昭和61年度	1986		坂出市	7月、八幡高架橋PC上部工コンクリート打設開始(瀬戸大橋工事誌571頁)
昭和61年度	1986		坂出市	9月、羽佐島高架橋[香川25]工事完成(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和61年度	1986		坂出市	9月、与島橋[香川25]主構閉合(本州四国連絡橋公団三十年史775頁)
昭和61年度	1986		坂出市	10月、櫃石島橋[香川23]鋼床版閉合(本州四国連絡橋公団三十年史776頁)
昭和61年度	1986		坂出市	11月、与島橋[香川25]工事完成(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和61年度	1986		坂出市	昭和62年3月、北備讃瀬戸大橋[香川27]鋼床版閉合(本州四国連絡橋公団三十年史776頁)
昭和62年度	1987	6月、第四次全国総合開発計画の策定	坂出市	4月、櫃石島橋[香川23]工事完了(瀬戸大橋工事誌566頁)
昭和62年度	1987	5月、児島・坂出ルート道路名称等決定(瀬戸中央自動車道)(本州四国連絡橋公団三十年史777頁)	坂出市	4月、番の州道路高架橋鋼上部工架設完了(瀬戸大橋工事誌571頁)
昭和62年度	1987	昭和63年3月、瀬戸大橋架橋記念博覧会が坂出市番の州で開催(昭和63年8月まで)(瀬戸大橋架橋史330-333頁)	坂出市	5月、櫃石島高架橋[香川22]工事完了(瀬戸大橋工事誌568頁)
昭和62年度	1987		坂出市	5月、櫃石島高架橋[香川22]道路桁閉合(本州四国連絡橋公団三十年史777頁)
昭和62年度	1987		坂出市	6月、北備讃瀬戸大橋[香川27]工事完了(瀬戸大橋工事誌564頁)
昭和62年度	1987		坂出市	6月、岩黒島高架橋[香川24]工事完了(瀬戸大橋工事誌569頁)
昭和62年度	1987		坂出市	7月、番の州高架橋[香川28]工事完了(瀬戸大橋工事誌569頁)
昭和62年度	1987		坂出市	7月、南備讃瀬戸大橋[香川27]鋼床版閉合(本州四国連絡橋公団三十年史777頁)
昭和62年度	1987		坂出市	8月、南備讃瀬戸大橋[香川27]最終ボルト締結式(本州四国連絡橋公団三十年史777頁)
昭和62年度	1987		坂出市	9月、与島高架橋[香川26]工事完了(瀬戸大橋工事誌569頁)
昭和62年度	1987		坂出市	9月、下津井瀬戸大橋[香川55]工事完了(瀬戸大橋工事誌563頁)
昭和62年度	1987		坂出市	10月、八幡高架橋PC上部工閉合(瀬戸大橋工事誌571頁)
昭和62年度	1987		坂出市	12月、南備讃瀬戸大橋[香川27]工事完了(瀬戸大橋工事誌566頁)
昭和62年度	1987		坂出市	12月、岩黒島橋[香川23]工事完了(瀬戸大橋工事誌567頁)
昭和63年度	1988	第10次道路整備五箇年計画(昭和63～平成4年度)の策定	坂出市	4月、与島パーキングエリア[香川52]完成(本州四国連絡橋公団三十年史366-367頁)
昭和63年度	1988	4月、瀬戸大橋の開通を前に、橋上開放のサイクリング、マラソン、ウォーク大会開催(瀬戸大橋架橋史327頁)		
昭和63年度	1988	4月、瀬戸中央自動車道(児島～坂出ルート[香川47])が全線開通(四国の建設のあゆみ1143-1145頁)		
平成元年度	1989	6月、道路法改正(立体道路制度の創設)		
平成2年度	1990	5月、四国地方開発促進計画(第4次)の策定		
平成2年度	1990	平成3年1月、瀬戸中央自動車道交通量1,000万台突破(本州四国連絡橋公団三十年史782頁)		
平成3年度	1991	5月、道路法改正(自動車駐車場に関する規定の整備)		
平成4年度	1992	4月、高松自動車道・瀬戸中央自動車道連結式(本州四国連絡橋公団三十年史783頁)		
平成4年度	1992	平成5年2月、道の駅に関する要綱制定		
平成5年度	1993	第11次道路整備五箇年計画(平成5～9年度)の策定		
平成5年度	1993	5月、瀬戸大橋橋上有料通行台数2,000万台達成(本州四国連絡橋公団三十年史784頁)		
平成5年度	1993	東四国国体開催		
平成5年度	1993	11月、道路構造令改定(人が中心の道づくりへの取り組み)		
平成6年度	1994	平成7年3月、電線共同溝の整備等に関する特別措置法公布		
平成8年度	1996	5月、道路法改正(道路交通騒音に関する規定の整備)		
平成9年度	1997	平成10年3月、21世紀の国土のランドデザインの策定		
平成10年度	1998	第12次道路整備五箇年計画(平成10～14年度)の策定		
平成10年度	1998	6月、道路法改正(高速道路ICの利便増進施設の占用に関する規定の整備)		
平成10年度	1998	平成11年3月、四国地方開発促進計画(第5次)の策定		
平成13年度	2001	4月、道路構造令改定(道路利用者の独立した空間の確保)		
平成15年度	2003	7月、道路構造令改定(コスト縮減への対応)		
平成15年度	2003	10月、第1次社会資本整備重点計画(平成15～19年度)の策定		
平成16年度	2004	6月、道路法改正(高速道路SA・PAの利便施設部分に関する規定の整備)		
平成18年度	2006	平成19年3月、道路法改正(道路の機能へのにぎわい交流の場としての機能等の追加)		
平成20年度	2008	7月、国土形成計画(全国計画)の策定		

瀬戸中央自動車道の年表

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

瀬戸中央自動車道(香川県坂出市)

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
平成20年度	2008	平成21年3月、第2次社会資本整備重点計画(平成20～24年度)の策定		
平成21年度	2009	8月、四国圏広域地方計画の策定		
平成21年度	2009	8月、四国ブロックの社会資本の重点整備方針の策定		
平成24年度	2012	8月、第3次社会資本整備重点計画(平成24～28年度)の策定		
平成25年度	2013	6月、道路法改正(道路の点検、大型車両の通行の誘導等の道路の老朽化対策)		
平成27年度	2015	8月、新たな国土形成計画(全国計画)の策定		
平成27年度	2015	平成28年3月、四国圏広域地方計画の策定		
平成27年度	2015	平成28年3月、四国ブロックにおける社会資本整備重点計画の策定		

資料

1. 本州四国連絡橋公団編「瀬戸大橋工事誌」(1988年)
2. 本州四国連絡橋公団編「瀬戸大橋技術誌」(1989年)
3. 瀬戸大橋架橋史編さん委員会編「瀬戸大橋架橋史 通史・資料編」(1989年)
4. 本州四国連絡橋史編さん委員会編「本州四国連絡橋公団三十年史」(2000年)